

～今年は家庭ごみ有料化制度開始 3 年間の検証を行います～

「家庭ごみ有料化」について ご意見をお聞かせください。

家庭ごみ有料化 3 年間の検証にかかる ご意見 拝聴会

月 日	時 間	場 所	
5月13日 (土)	午前 10 時	鶴崎市民行政センター	大会議室
		植田市民行政センター	大会議室
		大南市民センター	大会議室
		大分東部公民館	大会議室
		大分南部公民館	音楽室
	午後 7 時	大在公民館	研修室
5月27日 (土)	午前 10 時	コンパルホール	400会議室
		大分西部公民館	多目的ホール
		南大分公民館	多目的ホール
		明治明野公民館	研修室 1
		佐賀関公民館	研修室 1、2
		野津原市民センター	大会議室
	午後 2 時	坂ノ市公民館	研修室 2、3

これまでにいただいた、ご意見やご要望も含め、あらためて家庭ごみ有料化制度について皆様と一緒に考えていきます。

多くの方に参加していただき、率直なご意見をお聞かせください。

【お問い合わせ先】 大分市 環境部 清掃管理課 097-537-5624

1. 家庭ごみ有料化とは

家庭ごみ有料化とは、家庭からごみを出すときに、市が指定する有料のごみ袋を使用することにより、ごみを出す量に応じて、ごみ処理費用の一部を負担していただく制度です。

2. 家庭ごみ有料化の目的

① ごみ処理に係る費用負担の公平性の確保

ごみの量に応じた費用の負担が生じることにより、ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組んだ場合と、取り組まなかった場合のそれぞれにおいて経済的な負担に差が生じ、費用負担の公平性が図られます。

② 家庭ごみの減量とリサイクルを推進

「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の中に含まれているリサイクルできる紙類などの「資源物」を多く回収することができ、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の量を減少させることができます。

3. 現状の評価について

家庭ごみ有料化制度の導入により、ごみの排出量に応じた費用負担の公平性が確保され、また、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の排出量が削減されたことは、市民の皆様が「生ごみの水きり」や「資源物の分別」に取り組んでいただいた成果であり、ごみの減量とリサイクルの推進に一定の効果が表れたものと考えております。

(P12 家庭ごみ排出量の推移)

4. 今後の有料化制度の取り組みについて

「大分市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の附則6号に、市長は、家庭ごみ有料化制度に関し、施行後3年ごとに、施行の状況、家庭廃棄物の発生の状況等を勘案し、当該規定の見直し等について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものと規定されていることから、平成29年度が3年目にあたるため、制度について継続の可否を含めた検証を実施することとします。

5. 家庭ごみ有料化制度の概要及びこれまでの市民の皆様からの意見や要望

< 家庭ごみ有料化制度の概要 >

これまで行った改善内容

< 市民意識調査や拝聴会等における意見や要望 >

5-1.家庭ごみ有料化制度内容について

(1) 対象となるごみ

家庭ごみ有料化の対象範囲

区分	品目	排出方法
対象となるごみ	燃やせるごみ	指定ごみ袋
	燃やせないごみ	
対象外	資源物 缶・びん、ペットボトル、 プラスチック製容器包装(資源プラ)、 新聞類・その他紙類、布類	4.5リットル以内の 透明・半透明の袋
	危険物等 スプレー缶類、ライター類、 蛍光管・電球・水銀体温計、 乾電池	
	剪定枝	4.5リットル以内の 透明・半透明の袋 (燃やせるごみ)
	落ち葉	
	草花	
ボランティアごみ	ボランティア専用袋(青色)	



拝聴会などによる意見や要望

○「対象となるごみ」について、
「燃やせないごみ」は対象外でいいのではないか。

○「対象外」について、
「資源物」を対象でいいのではないか。

○地域美化活動に伴うボランティアごみに対する支援策

個人、団体による地域美化活動に伴うもの	20リットルまたは、4.5リットルのボランティア専用袋を申請により支給
ごみステーションの管理に伴うもの	ボランティアでごみステーションの清掃を行う自治会に対し、ボランティア専用袋を支給



拝聴会などによる意見や要望

○支給枚数を増やしてほしい。
○20リットルより小さいサイズの袋を支給してほしい。

< 家庭ごみ有料化制度の概要 >

これまで行った改善内容

< 市民意識調査や拝聴会等における意見や要望 >

(2) 負担軽減措置

	対象者	交付する袋の種類・枚数
紙おむつ ・ ストマ用装具 ・ 腹膜透析	2歳未満の乳幼児を養育する方 ・配偶者からの暴力を理由に避難している方 ・本市住民登録がない方(里帰り等)	1人につき 2歳誕生日まで 最大200枚 (小袋 20リットル)
	【長寿福祉課事業】 大分市おむつ等介護用品購入費助成事業による紙おむつ等の購入費の助成を受けている方 大分市家族介護用品支給事業による紙おむつ等の支給を受けている方	1人につき 年間最大100枚 (小袋 20リットル)
	医師から常時紙おむつを使用する必要があると診断された方(上記事業に該当しない)	
	【障害福祉課事業】 大分市日常生活用具給付事業のうち排泄管理支援用具(ストマ用装具、紙おむつ等)の給付を受けている身体障がい者及び知的障がい者の方	
	常時ストマ用装具を使用する方(上記事業に該当しない)	
常時紙おむつを使用している2歳以上3歳未満の身体障がい者児又は知的障がい児を養育する方(身体障害者手帳1級又は2級、療育手帳A1又はA2に限る)		
	常時腹膜透析を実施する方	
生活保護受給世帯	生活保護法による生活扶助を受けている方	年間最大60枚 2人以下の世帯 小袋 20リットル 3人以上の世帯 中袋 30リットル

※大分市に居住する対象者で「在宅」に限る

申請が必要な対象者

・出生届時に一部を交付
(平成28年6月から改善)



・減免対象者からの申出に応じて容量が小さいものに変更可とした。
(平成29年2月から改善)

拝聴会などによる意見や要望

- 袋のサイズを大きくしてほしい。
- 袋の支給枚数を増やしてほしい。
(常時紙おむつを利用している方の意見が特に多い)
- 申請が必要な対象者の申請場所を拡大してほしい。

(3) 指定ごみ袋の種類と手数料の額 (販売価格)

種類	大袋	中袋	小袋	特小袋	ミニ袋
容量	45リットル相当	30リットル相当	20リットル相当	10リットル相当	5リットル相当
販売価格(10枚入)	315円	210円	140円	70円	35円
1枚あたり	31.5円	21円	14円	7円	3.5円

- ※1 指定ごみ袋は、「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の兼用袋です。
- ※2 指定ごみ袋取扱所(販売所)ではすべてのサイズを10枚1組として販売します。
- ※3 指定ごみ袋の価格はすべての指定ごみ袋取扱所(販売所)で同じです。
- ※4 指定ごみ袋はイベント等での景品として使用することはできません。



市民意識調査の結果

(値段について)		(袋の大きさについて)	
○ちょうど良いと思う	49.7%	○今のままでよい	81.6%
○高いと思う	31.2%	○変えた方がよい	7.7%
○安いと思う	3.3%		

- ※1 別々の袋を作成してほしいなどの意見はない。
- ※2 ばら売りや1組の枚数を増加してほしいなどの意見がある。
- ※3 特になし
- ※4 自治会などから景品として使用できないか問い合わせあり。(数件)
- ※5 ごみ袋に広告を掲載し収入を得てはどうかとの意見あり。(数件)

< 家庭ごみ有料化制度の概要 >

これまで行った改善内容

< 市民意識調査や拝聴会等における意見や要望 >

5-2. 手数料収入と収入の用途について

(1) 手数料収入

種類	容量	想定組数 (1組10枚入)	手数料の額	収入見込み
大袋	45リットル相当	750,000組	315円	236,250千円
中袋	30リットル相当	720,000組	210円	151,200千円
小袋	20リットル相当	380,000組	140円	53,200千円
特小袋	10リットル相当	340,000組	70円	23,800千円
ミニ袋	5リットル相当	220,000組	35円	7,700千円
合計		2,410,000組	-	472,150千円

平成27年度 実績

種類	容量	組数 (1組10枚入)	手数料 の額(円)	27年度実績(円)
大袋	45リットル相当	745,400	315	234,801,000
中袋	30リットル相当	601,050	210	126,220,500
小袋	20リットル相当	488,750	140	68,425,000
特小袋	10リットル相当	305,200	70	21,364,000
ミニ袋	5リットル相当	135,450	35	4,740,750
合計		2,275,850組	-	455,551,250

(2) 収入の用途

①ごみ減量・リサイクルに関する経費

○ごみステーションの管理費等の助成 (新規)

自治会が管理するごみステーションに係る設置・改修費及び飛散防止のためのネット等購入費の助成

要綱措置

大分市ごみステーション設置等補助金交付要綱(平成26年4月施行)

【ごみステーションの設置】

・購入費及び工事費 ・補助率1/2 ・補助限度額 80,000円

【ごみステーションの改修】

・改修費及び修理費 ・補助率1/2 ・補助限度額 30,000円

【被せネット又はシートの購入】

・購入費 ・補助率10/10 ・補助限度額 3,500円

※設置・改修は自治会が管理するステーション数の10分の1以内、被せネット・シートは3分の1以内

<再度の申請ができる時期> 設置/10年後 改修/5年後 ネット・シート/1年後

○クリーン推進員の活動経費の助成 (新規)

校区ごとに開催する総会や研修会、また、意見交換会等を行う際の諸経費等の助成

要綱措置

大分市クリーン推進員校区連絡会議運営費補助金交付要綱(平成26年4月施行)

【補助対象経費】 ・消耗品、食糧費、印刷製本費、通信運搬費、使用料

【補助限度額】 ・校区連絡会議を構成する人数に500円を乗じて得た額



補助率と限度額の一部改正
(平成27年5月施行)
設置 2/3・100,000円
改修 2/3・40,000円

ネット現物支給(3×4m)

※設置・改修は自治会が管理する
ステーション数の2分の1以内

補助限度額の一部改正
(平成27年4月施行)

校区連絡会議を構成する人数に
1,000円を乗じて得た額

市民意識調査の結果

○有料化実施に伴い事業を拡充してもらいたいもの
・ごみステーション設置等補助金 36.7% (最も多い)

拝聴会などによる意見や要望

○補助率及び補助限度額を増やしてほしい。ネット支給について、支給するステーション数を3分の1以上に拡大してほしい。

市民意識調査の結果

○有料化実施に伴い事業を拡充してもらいたいもの
・クリーン推進員の研修経費への助成 10.3%

懇談会などによる意見や要望

○既存事業であるクリーン推進員報償金について、現行の月額1,000円から増額してほしい。

< 家庭ごみ有料化制度の概要 >

これまで行った改善内容

< 市民意識調査や拝聴会等における意見や要望 >

○ごみ減量・リサイクル啓発経費 (新規)
 地域や学校等のごみ減量・リサイクルに関する説明会で活用するための環境教育啓発用パンフレットやDVDの作製



拝聴会などによる意見や要望
 ○特に意見・要望はない。

○生ごみ処理容器等による減量化促進事業 (拡充)
 家庭において生ごみの減量化に取り組む方を支援するための生ごみ処理機器購入補助額の引き上げ

要綱措置
 大分市生ごみ処理機器購入補助金交付要綱 (平成23年6月施行)
 【補助金の額等】・補助率 1/2 ・上限額 電動式 22,000円 非電動式 11,000円

↓

大分市生ごみ処理機器購入補助金交付要綱 (平成26年4月施行)
 【補助金の額等】・補助率 1/2 ・上限額 電動式 30,000円 非電動式 15,000円



市民意識調査の結果
 ○有料化実施に伴い事業を拡充してもらいたいもの
 ・生ごみ処理機器購入補助金 18.6%

○有価物集団回収運動促進事業 (拡充)
 環境問題への意識の向上や地域コミュニティの活性化に寄与している有価物集団回収運動実施団体の充実を図るための報償金単価の引き上げ

要綱措置
 大分市有価物集団回収事業報償金交付要綱 (平成21年8月施行)
 【報償金】・実施月数に3,000円を乗じた額
 ・紙類、布類 回収量1kgにつき3円を乗じた額
 ・廃食用油 回収量1リットルにつき10円を乗じた額(平成23年6月施行)

↓

大分市有価物集団回収事業報償交付要綱 (平成26年4月施行)
 【報償金】・実施月数に3,000円を乗じた額
 ・紙類、布類 回収量1kgにつき5円を乗じた額
 ・廃食用油 回収量1リットルにつき10円を乗じた額



対象品目の一部改正
 (平成29年4月施行)
 対象品目の追加
 ・スチール缶及びアルミ缶
 回収量1kgにつき5円を乗じた額

市民意識調査の結果
 ○有料化実施に伴い事業を拡充してもらいたいもの
 ・有価物集団回収団体への支援 22.0% (2番目に多い)

○ごみ分別事典の全戸配布 (導入時)
 ごみ分別の徹底を図るための「ごみ分別事典」を全世帯に配布



転入者用に作成し配布

拝聴会などによる意見や要望
 ○最新の分別事典がほしい。

< 家庭ごみ有料化制度の概要 >

これまで行った改善内容

< 市民意識調査や拝聴会等における意見や要望 >

②廃棄物処理施設整備基金への積み立て

ごみ処理施設の整備に要する経費に充てるための「廃棄物処理施設整備基金」を設置し、手数料収入の一部を積み立て

条例制定

大分市廃棄物処理施設整備基金条例（平成26年4月施行）



予算措置

手数料収入から事務費を差し引いた額の、概ね1/2の額を積み立てる。



拝聴会などによる意見や要望

○基金を活用する時期と用途について明確に示してほしい。

③家庭ごみ有料化に伴う事務費

指定ごみ袋作製費、指定ごみ袋の保管配送費、販売委託料等の事務経費、負担軽減措置に関する経費 等



すべての種類のごみ袋の厚さを0.005mm厚くした。
〔平成28年11月入札分から改善〕

市民意識調査の結果

○今のままでよい 67.6% ○厚くした方がよい 24.9%

5-3. 不法投棄対策・不適正排出対策について

家庭ごみ有料化の開始に伴い、新たな「不法投棄」、「不適正排出（ルール違反）」が生じないよう啓発活動等の充実・強化を図ります。

①不法投棄対策

不法投棄を未然に防止するため、山間部など不法投棄されやすい場所への監視カメラの設置やパトロール活動による監視体制の強化を図ります。また、不法投棄監視ネットワーク事業を通じて、市民と行政とが協働して監視等を行い不法投棄の未然防止に努めるとともに、不法投棄が多発する地域において活動団体がいない自治会に対し、本事業を活用していただくよう働きかけを行います。



市民意識調査の結果

（充実を図ってほしいこと）

○監視カメラの設置 36.1%
○市によるパトロール 30.4%
○ボランティア団体によるパトロール 16.1%

②不適正排出（ルール違反）対策

ごみステーションの早朝パトロールにより、ごみの排出時におけるルールの周知徹底に努めるとともに、ルール違反ごみを発見した場合は排出者の調査を行い、特定できた場合は排出者に対して指導を行います。また、家庭ごみ有料化の開始前後は、ごみステーションを職員が巡回し、正しい分別と制度の周知を行います。さらに、不適正排出が続発するようなごみステーションについては、重点的に指導啓発を行います。



清掃指導員の校区担当制の導入（平成29年度から）

市民意識調査の結果

（マナーの向上に向けての取り組み）

○ステーションの看板設置 40.9%
○ステーション指導 26.5%
○市の広報誌やホームページでの啓発 13.7%

5-4. 家庭ごみ有料化制度の必要性について

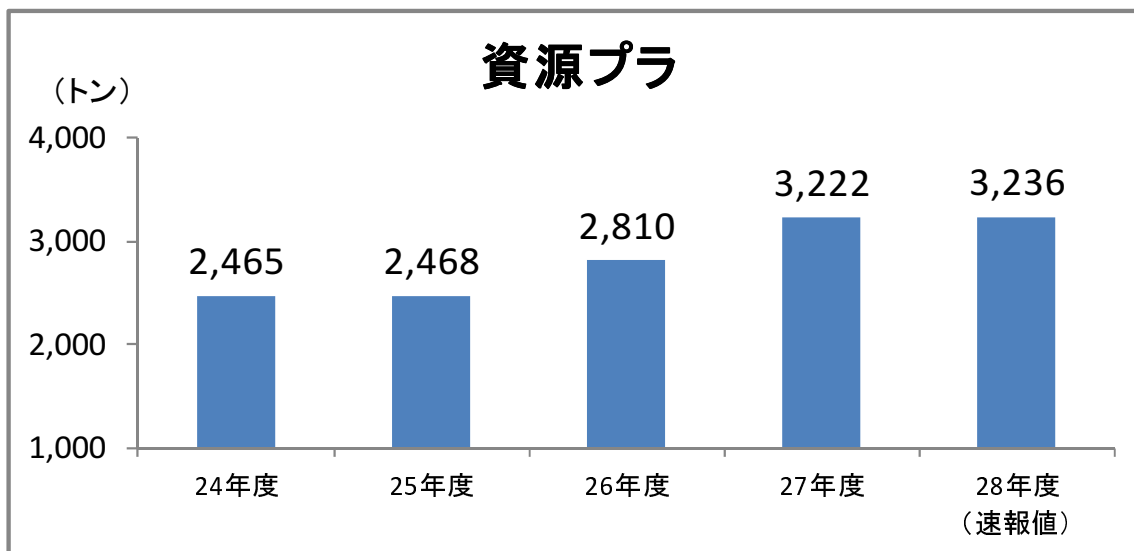
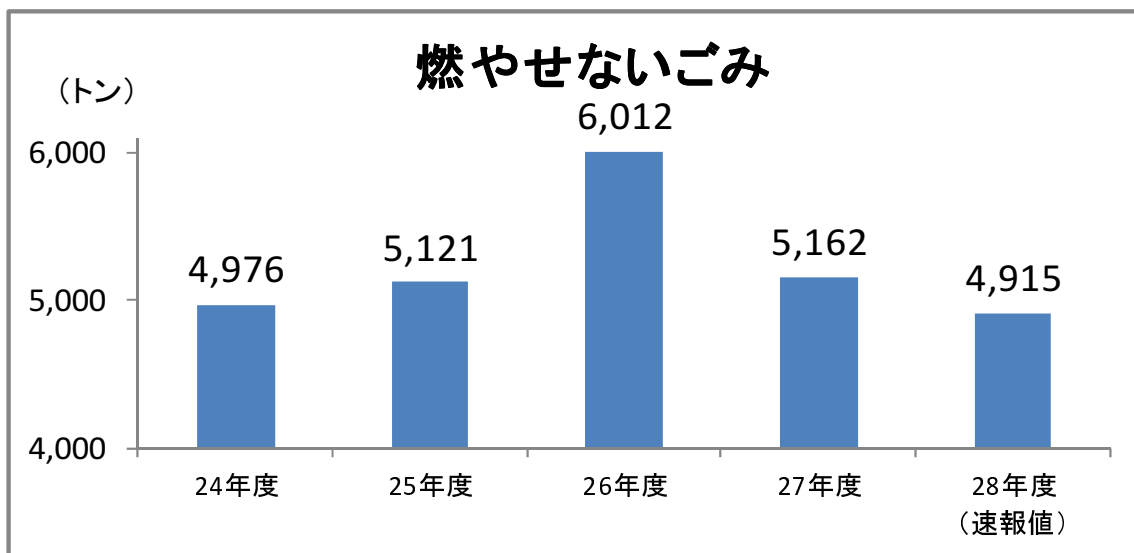
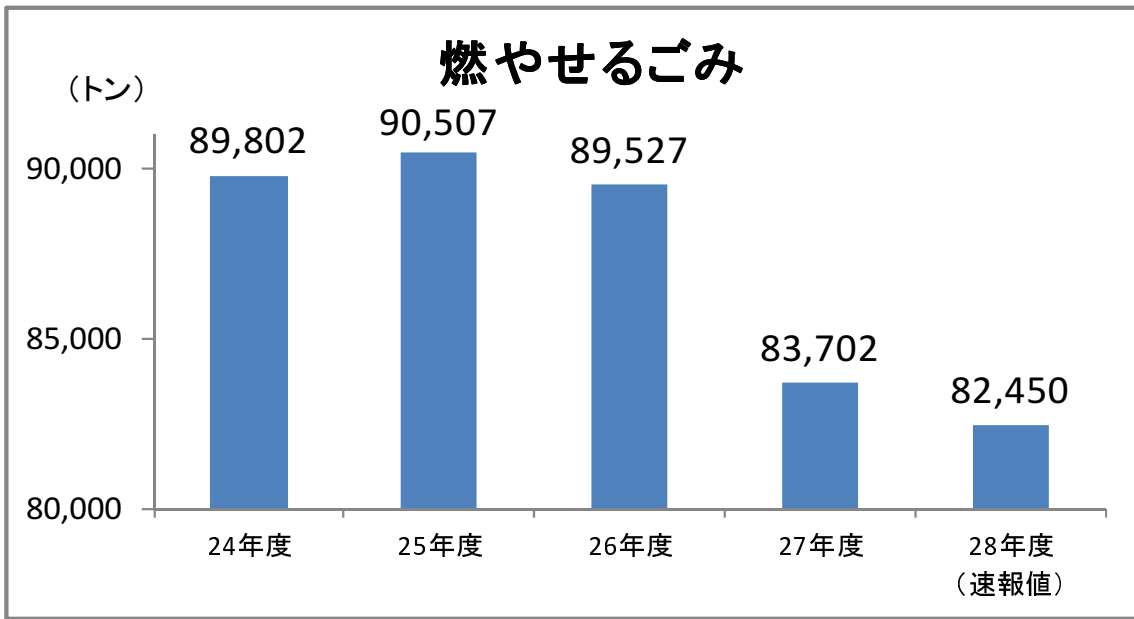
ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保することと、家庭ごみの減量・リサイクルの推進を目的として実施しています。



市民意識調査の結果

○必要だと思う 38.0% ○やむを得ない 49.4%
○必要だと思わない 6.7%

(参考)大分市家庭ごみ排出量の推移



家庭ごみ有料化
3年間の検証にかかるご意見拝聴会
資料編

平成29年5月 大分市環境部

1. 全国市区市町村の有料化実施状況

(平成29年4月現在)

	総数	有料化数	有料化実施率
政令指定都市	20	9	45%
中核市	48	14	29%
その他の市区	745	439	59%
町	745	519	70%
村	183	120	66%
市区町村	1,741	1,101	63%

(参考: 東洋大学経済学部教授 山谷修作ホームページ)

2. 「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の排出量の推移 (実績)

【排出量】

11月～有料化

(単位: トン)

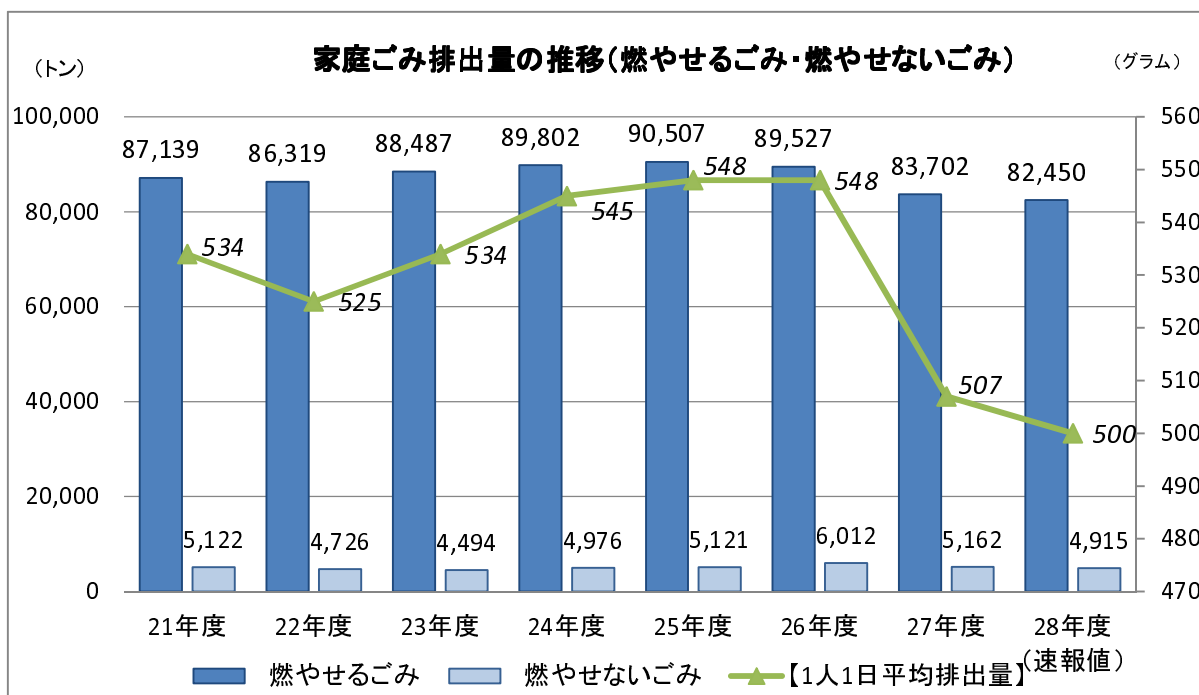
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度 (速報値)
燃やせるごみ	87,139	86,319	88,487	89,802	90,507	89,527	83,702	82,450
燃やせないごみ	5,122	4,726	4,494	4,976	5,121	6,012	5,162	4,915
合計	92,261	91,045	92,981	94,778	95,628	95,539	88,864	87,365

【1人1日平均排出量】

11月～有料化

(単位: グラム)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度 (速報値)
燃やせるごみ	504	498	508	516	519	513	478	472
燃やせないごみ	30	27	26	29	29	35	29	28
合計	534	525	534	545	548	548	507	500



3. 「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の排出量の削減率（25年度を基準）

	25年度	26年度	比較 25年度	27年度	比較 25年度	28年度 (速報値)	比較 25年度
燃やせるごみ	90,507	89,527	△ 1.1%	83,702	△ 7.5%	82,450	△ 8.9%
燃やせないごみ	5,121	6,012	17.4%	5,162	0.8%	4,915	△ 4.0%
合 計	95,628	95,539	△ 0.1%	88,864	△ 7.1%	87,365	△ 8.6%

	25年度	26年度	比較 25年度	27年度	比較 25年度	28年度 (速報値)	比較 25年度
燃やせるごみ	519	513	△ 1.2%	478	△ 7.9%	472	△ 9.1%
燃やせないごみ	29	35	20.7%	29	0.0%	28	△ 3.4%
合 計	548	548	0.0%	507	△ 7.5%	500	△ 8.8%

4. 「大分市一般廃棄物処理基本計画」の目標値

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
燃やせるごみ	82,118	81,337	80,563	79,443	78,339	77,250	76,176	75,117
燃やせないごみ	5,064	5,016	4,968	4,899	4,831	4,764	4,698	4,633
合 計	87,182	86,353	85,531	84,342	83,170	82,014	80,874	79,750

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
燃やせるごみ	471	466	460	455	449	443	435	431
燃やせないごみ	29	29	29	28	28	27	27	26
合 計	500	495	489	483	477	470	462	457

5. 政令指定都市における負担軽減措置の状況

	生活保護世帯	低所得世帯	おむつ (乳幼児)	紙おむつを使用する世帯 (介護認定など)
札幌市			○ 2歳未満 ・20L 100枚 ・10L 200枚	○ 20L 120枚
仙台市			○ 1歳未満 30L 50枚	○ 30L 50枚
千葉市			○ 3歳未満 20L 220枚	○ 20L 100枚
新潟市	○ ・1人 10L 150枚 ・3人以上 30L 150枚 ・2人 20L 150枚		○ 3歳未満 20L 210枚	○ 20L 80枚
京都市			○ 1歳未満 ・30L 40枚 ・20L 60枚	○ ・30L 60枚 ・20L 90枚
岡山市	○ ・1人 20L 70枚 ・2人以上 20L 150枚	○	○ 2歳未満 20L 300枚	○ 20L 150枚
福岡市			○ 新生児 30L 30枚	○ 30L 50枚
北九州市			○ 新生児 30L 30枚	○ 30L 50枚
熊本市	○ ・1人 15L 70枚 ・3人以上 45L 70枚 ・2人 30L 70枚		○ 3歳未満 15L 300枚	○ 30L 100枚

6. 中核市における負担軽減措置の状況

	生活保護世帯	低所得世帯	おむつ (乳幼児)	紙おむつを使用する世帯 (介護認定など)
函館市		○ 1人あたりの排出量5Lとし世帯員に応じたサイズを支給 6人以上(最大) 40L 84枚		
旭川市	○ ・1人 10L 70枚 ・3人以上 10L 110枚 ・2人 10L 70枚		○ 3歳未満 10L 450枚	○ 10L 360枚、または 30L 120枚
八戸市	○ 30L 50枚			
秋田市			○ 30L 30枚	○ 30L 30枚
八王子市	○ ・1人 10L 104枚 ・5人以上 40L 104枚 ・2人~4人 20L 104枚		○ 未就学児 ・20L 30枚 ・10L 30枚	
長野市	○ ・20L 60枚 ・粗大ごみシール 3枚		○ 3歳未満 30L 90枚	○ ・30L 60枚 ・20L 90枚
呉市	○ ・1人 10L 100枚 ・3人以上 40L 104枚 ・2人 20L 104枚		○ 2歳未満 市県民税非課税世帯 20L 50枚	○ 20L 50枚
下関市			なし	
高松市	○ 30L 120枚			
久留米市			なし	
宮崎市	○ 30L 50枚		○ 3歳未満 市県民税非課税世帯 30L 50枚	○ 市県民税非課税世帯 30L 50枚
那覇市			なし	
大分市	○ ・2人以下 20L 60枚 ・3人以上 30L 60枚		○ 2歳未満 20L 200枚	○ 20L 100枚

7. 大分県内における負担軽減措置の状況

	生活保護世帯	低所得世帯	おむつ (乳幼児)	紙おむつを使用する世帯 (介護認定など)
別府市	なし			
日田市	○ ・1人 30L 60枚 ・1人以外 30L 120枚		○ 1歳未満 15L 120枚	○ (高)30L 120枚 (障)15L 120枚
佐伯市	なし			
臼杵市	○ ・1人 20L 20枚 ・1人以外 20L 40枚		○ 1歳未満 30L 120枚	○ 20L 120枚
津久見市	○ ・1人 20L 80枚 ・1人以外 30L 80枚		○ 1歳未満 20L 120枚	○ (高)45L 120枚 (障)30L 120枚
竹田市	なし			
豊後高田市	なし			
杵築市			○ 1歳未満 ・20L 120枚 ・45L 60枚	○ 45L 60枚
宇佐市			○ 1歳未満 45L 60枚	○ 45L 60枚 45L 60枚(高齢者)
豊後大野市	なし			
由布市	なし			
国東市	なし			
姫島村	なし			
日出町	○			
九重町	なし			
玖珠町	なし			

8. 手数料の料金 (比較するため全ての市を45リットルに置換えて積算)

【九州県都市】

都市名	福岡市	佐賀市	熊本市	宮崎市	那覇市	大分市	平均
金額 (1ℓあたり)	1.0円	1.0円	0.78円	1.0円	0.67円	0.7円	0.86円
45ℓ相当の袋	45円	45円	35円	45円	30円	31.5円	38.8円

【中核市】

都市名	函館市	旭川市	八戸市	秋田市	八王子市	長野市	呉市
金額 (1ℓあたり)	2.0円	2.0円	0.67円	1.0円	1.875円	1.0円	1.0円
45ℓ相当の袋	90円	90円	30円	45円	84.37円	45円	45円

都市名	下関市	高松市	久留米市	宮崎市	那覇市	大分市	平均
金額 (1ℓあたり)	0.67円	1.027円	1.17円	1.0円	0.67円	0.7円	1.1円
45ℓ相当の袋	30円	46.23円	52.49円	45円	30円	31.5円	51.1円

* 秋田市、長野市については、別途袋の代金を加算

【大分県内】

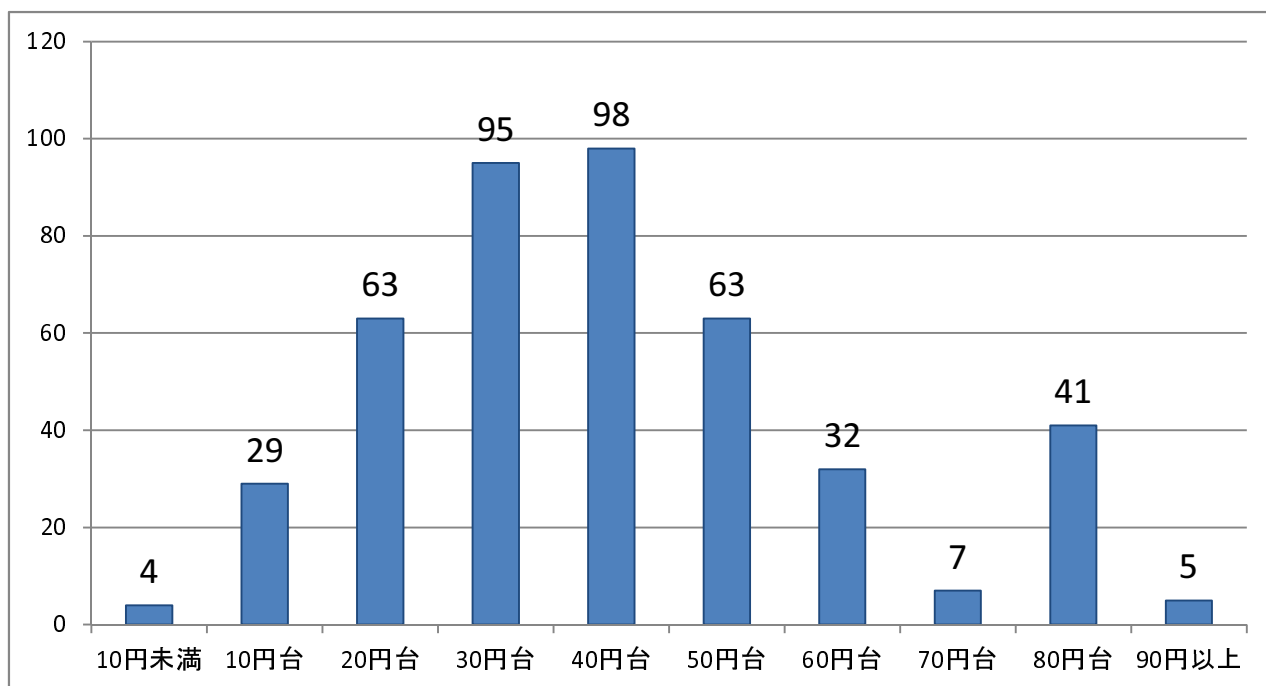
(大袋1枚相当)

市区	導入年月	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
大分市	2015.11	31.5円	31.5円	可燃・不燃兼用
別府市	1997.4	21.6円	21.6円	缶・びん・ペット19.44円
中津市	なし	-	-	
日田市	2004.10	35円	35円	埋立ごみ(30ℓ)35円
佐伯市	2005.3	30円	30円	
臼杵市	2005.3	30円	30円	プラ 30円(野津地域)
津久見市	2007.7	30円	-	
竹田市	1981.4	20円	20円	プラ・缶・びん・ペット20円
豊後高田市	2005.4	25円	25円	可燃・不燃兼用
杵築市	2006.10	21円	21円	缶・びん・ペット・古布10円
宇佐市	2006.7	30円	30円	
豊後大野市	1994.4	30円	30円	プラ 30円
由布市	2005.1	25円	-	
国東市	1999.4	42円	42円	缶・ペット42円、・びん31.5円
姫島村	-	月額 210円/人		
日出町	-	20円	20円	缶・びん・ペット20円
九重町	-	(大袋50ℓ) 36円	(大袋40ℓ) 36円	
玖珠町	-	(大袋55ℓ) 36円	(大袋55ℓ) 36円	
平均	大袋45リットルの場合	28.3円	28.4円	(姫島村を除く)

9. 価格帯別都市数（単純従量制・大袋1枚の価格）

(市数)

(平成29年4月現在)



N=436 (N=回答数)

(出所: 東洋大学経済学部教授 山谷修作ホームページ)

10. 中核市における指定ごみ袋の種類

	45ℓ	40ℓ	30ℓ	20ℓ	18ℓ	10ℓ	5ℓ	種類
1 函館市		○	○	○		○	○	5
2 旭川市		○	○	○		○	○	5
3 八戸市	○		○	○				3
4 秋田市	○		○	○		○		4
5 八王子市		○		○		○	○	4
6 長野市		○	○	○		○		4
7 呉市	○	○	○	○		○		5
8 下関市	○		○		○	○		4
9 高松市		○	○	○		○		4
10 久留米市			○		○			2
11 宮崎市		○	○	○		○		4
12 那覇市	○		○	○		○		4
13 大分市	○		○	○		○	○	5
都市数	6	7	12	11	2	11	4	4.1

11. 家庭ごみ有料化に伴う 手数料収入の用途について

【歳入】

(単位:円)

年度別 手数料収入	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (予算)
	281,200,220	455,551,250	434,000,000

【歳出】

(単位:円)

目的	事業名	平成26年度		平成27年度		平成28年度 (予算)	
		決算額	収入の用途	決算額	収入の用途	予算額	収入の用途
事務費	指定ごみ袋作製業務委託	341,207,956	281,200,220	310,134,643	310,134,643	165,355,000	165,355,000
	保管・配送業務委託						
	受注・収納管理業務委託 など						
基金	廃棄物処理施設整備基金	0	0	73,000,000	73,000,000	134,000,000	134,000,000
ごみ減量・リサイクル推進経費	ごみステーション管理費等補助金	6,981,100	0	12,222,784	12,222,784	14,600,000	14,600,000
	クリーン推進員活動関連	9,070,961	0	9,771,000	9,771,000	10,113,000	10,113,000
	生ごみ処理容器等による減量化促進事業	21,723,474	0	9,830,515	9,830,515	16,889,000	16,889,000
	有価物集団回収団体への報償金	28,872,793	0	27,425,869	27,425,869	33,805,000	33,805,000
	きれいにしょうえおおい推進事業 など	4,351,226	0	2,512,724	2,512,724	5,217,000	5,217,000
	小計	70,999,554	0	61,762,892	61,762,892	80,624,000	80,624,000
周知・啓発等	ごみステーションの看板作製	2,395,180	0	1,921,320	1,921,320	3,300,000	3,300,000
	ごみ分別事典作成・配送	12,420,000	0	1,058,400	1,058,400	1,059,000	1,059,000
	新聞・テレビ・ラジオ広告	7,999,914	0	0	0	0	0
	ごみ減量DVDの作成	2,994,000	0	0	0	0	0
	リサイクルおおい作成 など	6,835,290	0	6,619,409	6,619,409	8,849,000	8,849,000
	小計	32,644,384	0	9,599,129	9,599,129	13,208,000	13,208,000
その他	使用済小型家電回収事業	1,053,250,479	0	1,124,561,950	1,054,586	1,160,974,000	40,813,000
	資源物等収集運搬事業						
	リサイクルプラザ維持管理費 など						
	小計	1,053,250,479	0	1,124,561,950	1,054,586	1,160,974,000	40,813,000
合計		1,498,102,373	281,200,220	1,579,058,614	455,551,250	1,554,161,000	434,000,000

平成29年度 家庭ごみ有料化3年間の検証にかかるご意見拝聴会 集計表

月日	曜日	開始	終了	開催場所	参加者数	アンケート回収数	会場での意見・要望・提言等の概要
5/13	土	10:00	11:10	鶴崎 市民行政 センター	43	43	・ごみ有料化は、このまま継続するのが、それともやめるのが ・有料化は税金の二重取りにならないのが ・有料袋の結び目が短く結びにくい、名前を書く欄が小さい ・ごみ減量の次の一手はあるのが ・ステーション補助金の額が少なすぎる、この金額では新設できない ・違反ごみを出す人が特定できているのに、もっと突っ込んで処置してほしい ・ごみステーションに水道・カメラ等を設置するときにも補助金を使えないか
5/13	土	10:00	11:00	穂田 市民行政 センター	68	61	・不法投棄の監視カメラはどこに何台設置しているのか ・有料袋を使えば分別をしなくてもよいという認識の住民がいるので啓発看板の設置を ・ネット支給事業のネットがすぐに破損した、もっと強い材質のものにしてほしい ・3年間で成果が出ていることや物価の上昇もあるので、価格の見直しを検討してほしい ・ネット支給事業のネットのサイズを大中小で揃えて ・有料化実施後の燃やせるごみに含まれる紙類の割合は ・アンケートで有料化制度が必要ないという結果になれば廃止できるのか ・クリーン推進員高齢化のため任期を1年に ・管理するステーションが多いのでクリーン推進員の人数を増やして ・ステーション補助はシートも対象なのか ・基金の割合が大きい有料袋の値段を下げられないか ・不燃ごみと資源ごみの違反が多いので指導回数を増やして ・清掃指導員の校区担当制は具体的にどのようなことをしているのか
5/13	土	10:00	11:00	大南 市民セン ター	38	36	・平成27年度の手数料収入の用途は ・クリーン推進員に助成金をだすのはわかるが、報告書や活動内容の提出はあるのか ・クリーン推進員制度はうまく運用できているのか ・市外の住民がごみステーションに排出している事がある、何か対応がとれないか ・有料袋の値段は全国一律なのか ・ボランティア専用袋は燃やせるごみと燃やせないごみの両方で使用できるのか ・ボランティア専用袋はステーションにだして良いのか ・ステーション補助金制度を利用するとき、状況によっては県や市の同意書が必要になるのはわかるが、もうすこし簡単にはならないのか ・12ページのごみ排出量の推移は想定内なのか、また、減量にいたった大きな要因は ・生ごみ処理機器の電動式と非電動式の違いの説明をしてほしい ・生ごみ処理機器の購入を積極的に推進しているのか
5/13	土	10:00	11:00	大分東部 公民館	48	41	・清掃指導員の地域担当制は今年度からか ・有料化は反対だが、有料化はなくなる前提で話を聞かなければならないのか。反対意見を言えば廃止するのか ・有料化の説明会では基金への積み立ての説明はなかったが後から市が決めたのか ・クリーン推進員の活動の負担が大きいので、基金への積み立てをクリーン推進員への報償金や自治会に還元して ・クリーン推進員の負担や苦勞をたくさんの人に知ってほしい ・市民いっせいがみ拾いの時自治会から参加者に袋を配布しているが市で負担してもらえないのか ・マナーの悪いアパート・マンションの管理会社には指導しているのか ・ごみ分別事典を全戸配布して3年たつが新しく配布は ・燃やせるごみの中が見えないよう紙で目隠しして袋いっぱい入っているのはごみの減量にならない、指導して ・布類の分別が難しく毎回違反ごみとして残されるのですべて可燃にして ・ステーション補助を使うとき値段が高いほど損をするので大きさにランク付けし補助率を変えて ・有料袋を厚くすることでのコストを考えればすべてのサイズの袋を厚くする必要はない ・放置自転車の処理で防犯登録で警察に連絡したり回収依頼で市に連絡したりと大変、窓口を一本化して ・岩田学園の通りの落ち葉、市で対応できないか
5/13	土	10:00	11:15	大分南部 公民館	24	21	・ステーションに設置してあるネットに入りきらずカラスに荒らされる、ステーションの世帯数を減らせないか ・他地区からの持込みへの対応 ・有価物集団回収の報償金、缶は業者は60円で引き取るのに市は安いのでは ・敷戸東、市営東のマネーが悪い、ルール違反ごみは断固として取らない毅然とした対応を ・有価物集団回収団体はどのような団体か ・行政回収した資源物の収入金額は ・指定袋が厚くなるが値段はそのままか ・20リットルが店にないことがある ・曲上、自治会とアパートでステーションを共有、アパートの排出マナーが悪い、専用のステーションを作ってもらいたい ・ごみ分別事典だけではわかりづらい ・古紙や布の再利用がわからないので分別が難しい ・指導員のステーションパトロールはいつしているのか ・ステーションは箱型やネット囲いなどあるが、費用は市から出るのが ・地域ごとにそれぞれ問題を抱えている。校区担当制を設けているのであれば、自ずから地域に入ってきてもらいたい ・クリーン推進員の仕事とは
5/13	土	19:00	20:20	大在 公民館	18	17	・クリーン推進員が担当区外でクリーン活動実施中の負傷は保険対象か ・有料化制度の導入で前よりステーションがきれいになった。導入はよかった ・ステーションへの不法投棄・不適正排出など多いので校区担当の指導員と相談していきたい ・市道上のステーション新設、改修が円滑に行われるよう同じ行政内で許可できないか ・1つの土地に複数のステーションがあるが1ヶ所ずつ補助金を使用して改修できるのか ・違反ごみは次の回収日まで放置されているが早めに回収できないか ・有料化後のごみ減量は、制度導入か、職員の対応か、市民のおかげなのか ・青色袋の配布枚数を増やして。毎回ステーション清掃すれば足りない、20リットル以下のサイズもほしい ・最新の分別事典はもらえないのか ・新聞社の古紙回収は市に一本化できないか ・施設の維持管理費を市民負担させるためすべての品目を有料化してはどうか、交通渋滞緩和のため深夜回収をしては ・有料化は反対。減量効果が12%なら有料化せずに、ごみ減量施策でもできたのではないか。
5/13 6会場 計					239	219	
5/27	土	10:00	11:15	コンパル ホール	43	37	・分別のルール、リサイクルの強化の徹底を、努力すべきは分別・リサイクルだが、有料化で方向性にズレが生じている ・資源プラの出し方が難しい、DVDケースは燃やせるごみなのに、燃やせるごみで出すと回収されないときがある(業者もわかっていない) ・海外では焼却施設の周辺で小児がんの発症率が高くなっている ・分別が難しいので12分別の時のように校区別の拝聴会を ・有料化反対。制度を一度廃止して効果を検証するほうが住民の意識向上につながるのでは ・有料化は定着している(変えるとは高齢者は混乱する)、全国で行われており当たり前。継続を ・収入があれば安くすればいい ・アパートのごみだしマナーが悪い ・ごみステーション設置等補助金での購入費とは、具体例を。補助の校区別の支給状況の資料を ・監視カメラの設置と現状、指導員がいれば違反ごみを出す人はいない、京都では条例により袋を開けて個人を特定している ・大分市は戸別収集をしないのか ・ごみ袋への名前の記入について、個人情報、条例、憲法をどのように考えているか ・年金生活者には袋代が高い ・市内中心部にゴミ箱が少ない ・外国人の不法投棄がある ・収入の用途がわかりにくい、基金の使い方、基金よりもステーション補助に使う方がよい ・基金よりも袋代を安く ・有料化前のごみ減量目標は16~18%だったが現状は12%、有料化で減量とリサイクルが進んだといえるのか ・有料化をしても減量している都市がある ・ごみの回収は昼からだが、午前中にお願ひできれば手数料が上がってもよい ・有料化の収入で収集車を増やし早くごみを回収にきてほしい ・土、日曜にボランティア清掃したらその日のうちに回収してほしい ・一度ネット支給したら、次年度から自動更新にならないのか ・ごみ出しマナーを守れない住民がいるが早期指導ではなく夜間指導ができないか ・海岸での釣り客の不法投棄で困っている、清掃した際のごみ袋は(坂ノ市から来られた方) ・クリーン推進員に対しての助成金が安くないか ・ごみステーション設置にあたっての流れを教えてください ・公園を清掃したとき、ボランティア袋は支給してくれるのか ・ディスプレイ(補助対象とされていた)は下水に影響があるのでは
5/27	土	10:00	11:00	大分西部 公民館	34	33	・有価物集団回収の補助金を上げてほしい ・これから要件がある場合は、校区担当の指導員に連絡すればよい ・資源物の違反ごみの対応はどうしているのか ・マナーの良くないステーションに監視カメラを付けることはできないのか ・他地区からの持込みが多く困っている、どのような対応策があるのか ・子供たちに環境教育をしてほしい ・クリーン推進員の任期年数を増やしたらどうか ・クリーン推進員の手当てを増やした方がよいのでは ・分別のDVDを各校区に配布したらよいと思う ・店舗に対して大分市から過剰包装の指導ができないか
5/27	土	10:00	11:30	南大分 公民館	39	36	・ボランティア袋は、個人の申請でももらえるのか ・ごみステーションの補助金の実績は。改修した数が知りたい ・収集した生ごみを市のほうで肥料化するような施設は造れないのか ・クリーン推進員の報償金を上げてほしい ・資源プラという名称が紛らわしいから違反が多いのでは。名称を変えてほしい ・被せネットの支給2×3メートルのサイズもほしい ・集合住宅のマナーが悪い ・アパート等は組長や当番がいらないからマナーが悪いのでは。管理会社に定期的な指導をお願いしたい ・特別マナーの悪いステーションは定期的にすべてのごみを片付けて ・ごみ袋の強度が強くなってよかった ・動画で見ると分別が頭に入りやすい。そういったものを準備してほしい
5/27	土	10:00	11:00	明治明野 公民館	23	20	・有料袋はいつ頃から厚いものになるのか ・燃やせないごみが27年度から28年度にかけて減少しているのはなぜか ・有料化で収益が上がっているのであればクリーン推進員の手当て増額を。なり手がなくて困っている ・有価物集団回収報償金の単価を上げてほしい、民間業者の受け入れ単価が下がり自治会へ入るのが少なくなってきた ・シールを貼られてステーションに残された違反ごみの対応は ・缶、びんは一緒の袋だが、リサイクルを考えるなら収集日を分けた方がよいのでは ・夜間収集は考えていないのか
5/27	土	10:00	11:05	佐賀関 公民館	27	26	・ダイオキシンの処理はできているのか ・佐賀関地区のごみステーションの良い点、悪い点 ・収入の用途で残された違反ごみを入れる容器(箱等)を用意してもらいたい ・不法投棄対策はどのようにとりこんでいるか(監視カメラの設置等) ・指定ごみ袋の厚みをもっと厚くしてくれないか ・クリーン推進員の研修費用の内訳は ・1、2級河川の整備について市はどこまで対応してくれるのか ・ごみカレンダーを全ステーションに設置してもらえないか
5/27	土	10:00	11:00	野津原 市民セン ター	16	16	・ごみステーション設置等補助金の補助率を、過疎化対策として2/3から3/4とか4/5にあげるよう検討を ・収入の用途は ・イベント景品について趣旨は理解できるが、以前景品として大変喜ばれた、使用はいけないのか(他都市では民生委員がごみ袋を1枚持参して訪問先にあいさつにいくと聞いている) ・被せネット支給の案内文がわかりにくかった(ネット破れた場合) ・前回の拝聴会でごみ袋が破れやすいと指摘したが早速改善に取り組んでもらいよかった
5/27	土	14:00	15:15	坂ノ市 公民館	27	25	・戸別収集の要望 ・クリーン推進員の手当ての倍増と人数を増やすことはできないか ・担当指導員の仕事内容は ・収集後にステーションの掃除を ・回覧の空きスペースにごみ減量の宣伝したいものを載せられないか ・ボランティア袋で出す場合も分別は必要か ・自治会未加入者もステーションにごみを出していいか ・アパートの住民のごみ出しマナーが悪いときはどうすればいいか ・資源物はどんなものにリサイクルされるのか詳しく周知を ・資源プラを回収処理して、燃料として使うのは分別回収の意味がない ・他都市、他国等で他にどんな回収方法があるのか ・高齢化でごみステーションが遠い、危ない等でごみ出しが難しい人に対する対策は ・不法投棄の処理を支所をお願いしたが処理が遅い、どこに連絡すればいいか ・通りすがりにステーションに捨てられた違反ごみの処理は
5/27 7会場 計					209	193	
合 計					448	412	

家庭ごみ有料化3年間の検証にかかる
ご意見拝聴会
アンケート

<調査結果>

平成29年6月
大分市清掃管理課

I 調査概要

1. 調査の目的

家庭ごみ有料化3年間の検証に向けて、制度に関することやごみ減量・リサイクルに関することについて、広く市民の意見を募集するために行いました。

2. 対象者

家庭ごみ有料化3年間の検証にかかるご意見拝聴会 参加者

3. 調査方法

直接配布・直接回収

4. 調査期間

平成29年5月13日（土）、5月27日（土） 13会場

5. 回答件数

配布数 448件

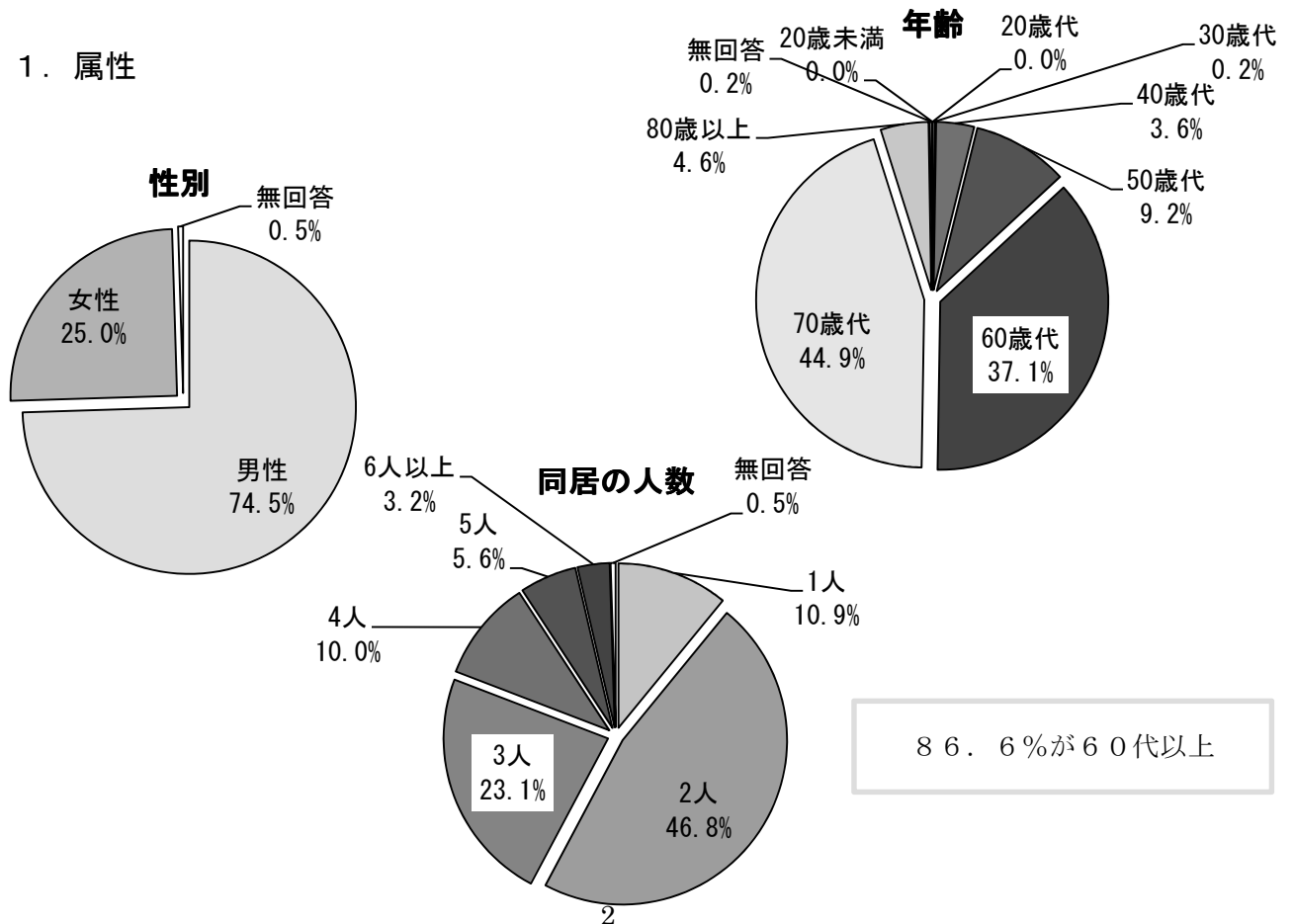
回収数 412件

6. 調査結果の処理

- 回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入。（合計は必ずしも100%にならないことがあります）
- 複数回答の質問の場合、その回答比率の合計は原則100%を超える。

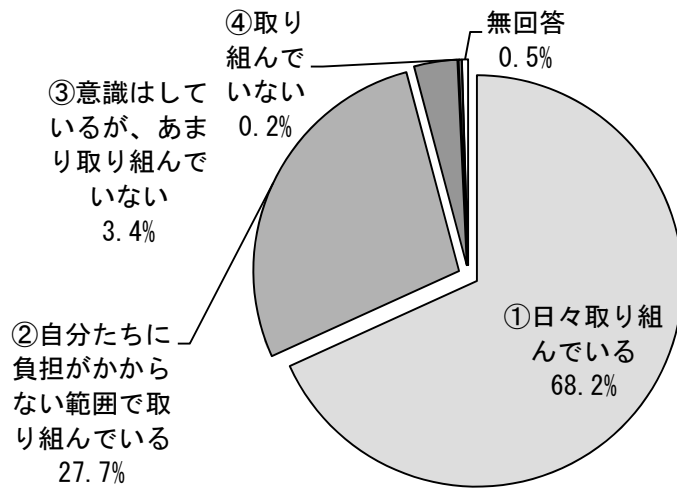
II 調査結果

1. 属性

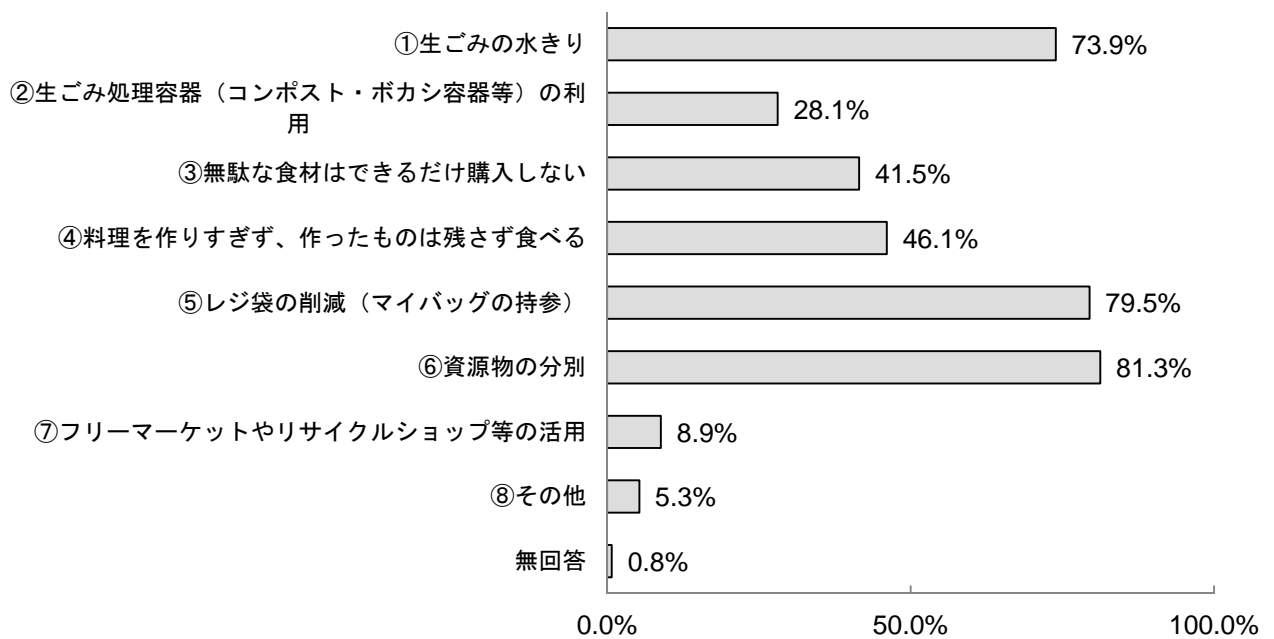


2. ごみ減量・リサイクルに関すること

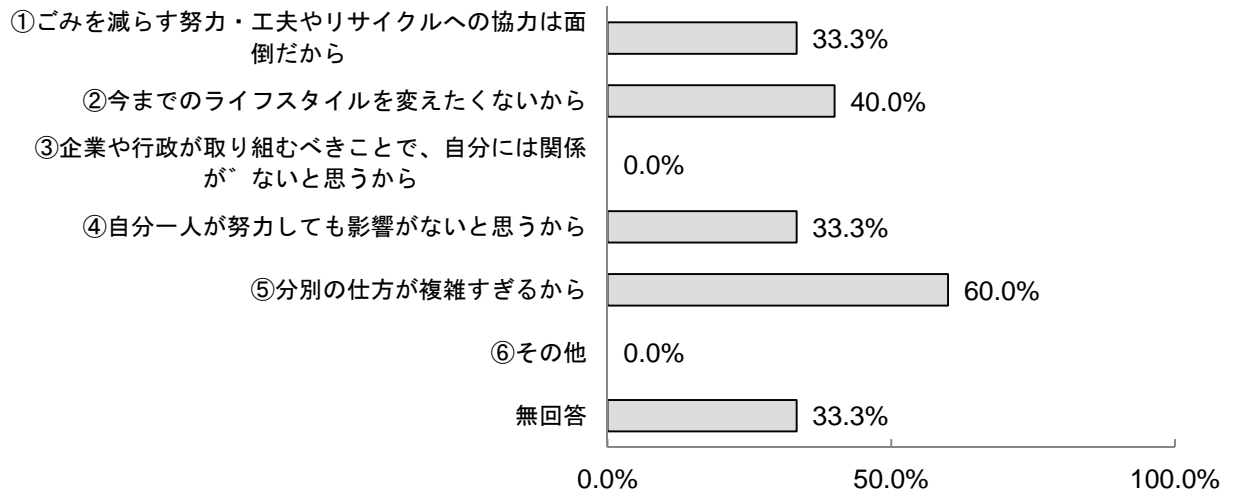
問 4	あなたやあなたと同居している家族は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(〇は1つ)
------------	--



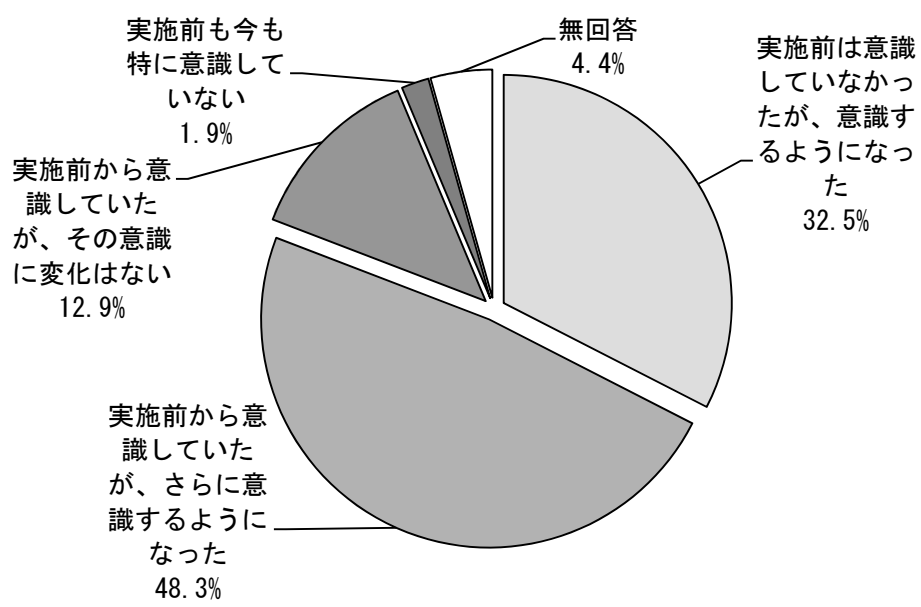
問 5	問 4 で①または②と答えた方にお聞きします。あなたやあなたと同居している家族が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいることはどれですか。(〇はいくつでも)
------------	--



問 6 問 4 で①または②と答えた方にお聞きします。あなたやあなたと同居している家族が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいないと答えた理由はどれですか。(〇はいくつでも)

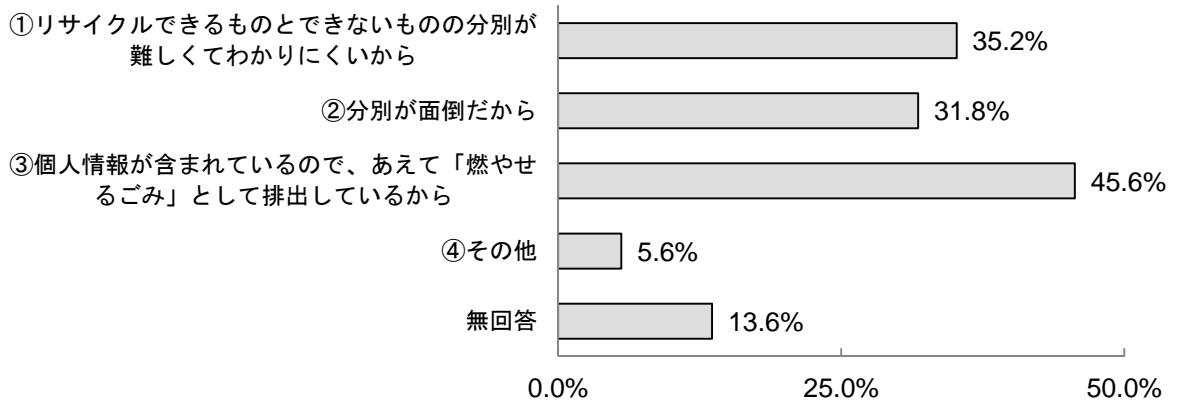


問 7 あなたは、家庭ごみ有料化の実施により、ごみ減量やリサイクルについて意識の変化がありましたか。(〇は1つ)



問 8

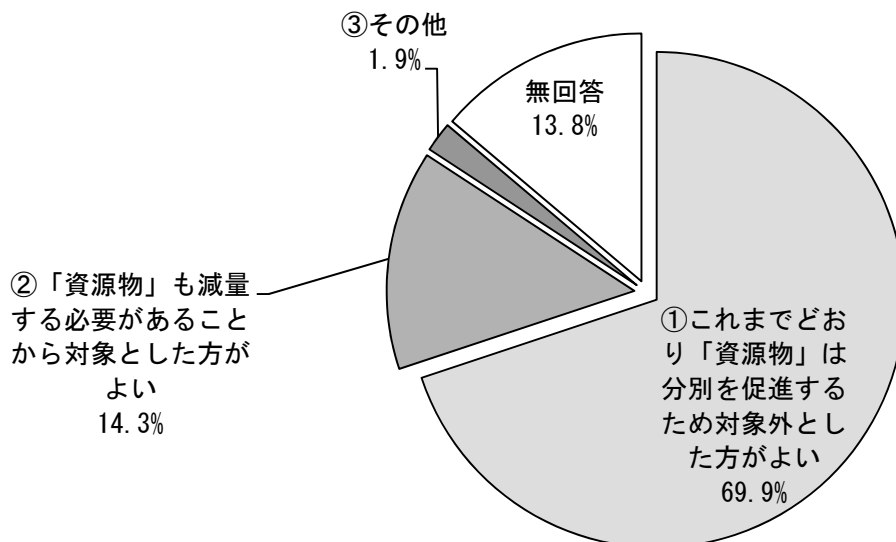
紙類の分別についてお聞きします。「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクルできる紙が混在していますが、それは何が原因と考えられますか。(〇はいくつでも)



3. 家庭ごみ有料化に関すること

問 9

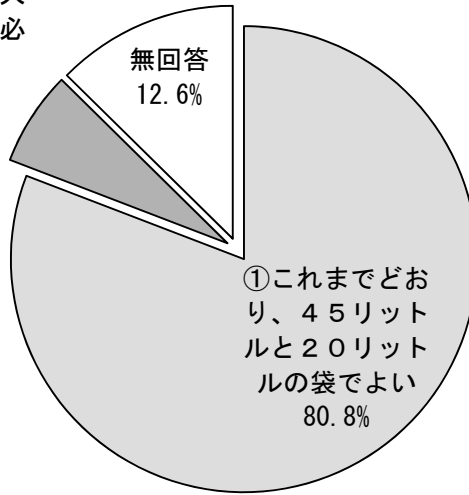
家庭ごみ有料化の対象となるごみについてお答えください。(〇は1つ)



問 1 0

地域の美化活動によって出たボランティアごみについては、市民の皆様の美化活動の妨げにならないよう、専用のごみ袋を無料で支給しています。ボランティア専用袋についてお答えください。(〇は1つ)

②違う種類(大きさ)の袋が必要である
6.6%



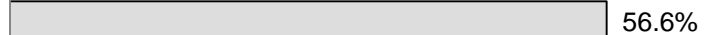
問 1 1

ご家族に紙おむつやストマ用装具等を使用する方がいてごみを減量することが困難な世帯や、生活保護受給世帯に対して、負担軽減措置として一定枚数の指定ごみ袋を無料で支給しています。負担軽減措置の対象者についてお答えください。(〇はいくつでも)

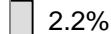
①乳幼児については2歳未満を3歳未満とした方がよい



②これまでどおりでよい



③この他に加えてほしい対象がある



無回答

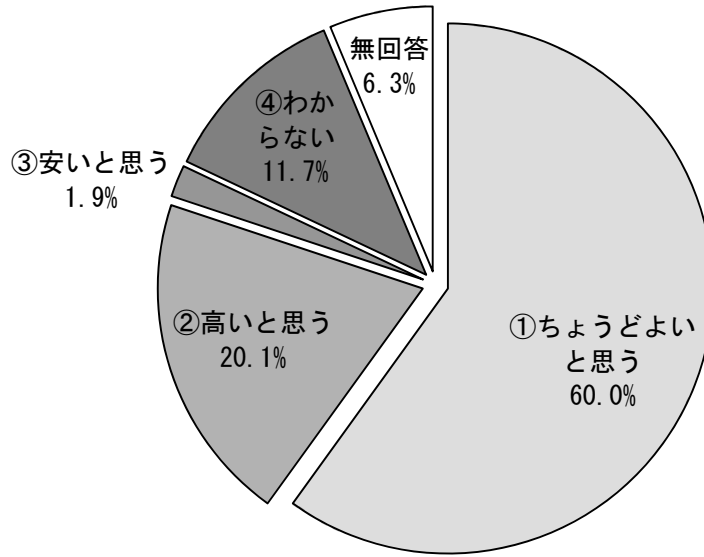


0.0% 20.0% 40.0% 60.0%

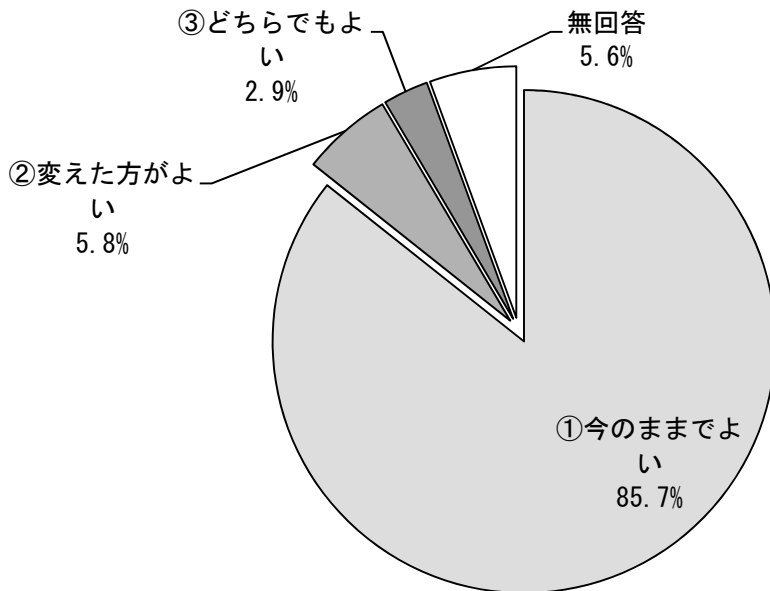
問 1 2

指定ごみ袋に関することについてお答えください。

1 あなたは指定ごみ袋の値段についてどう思いますか。(○は1つ)



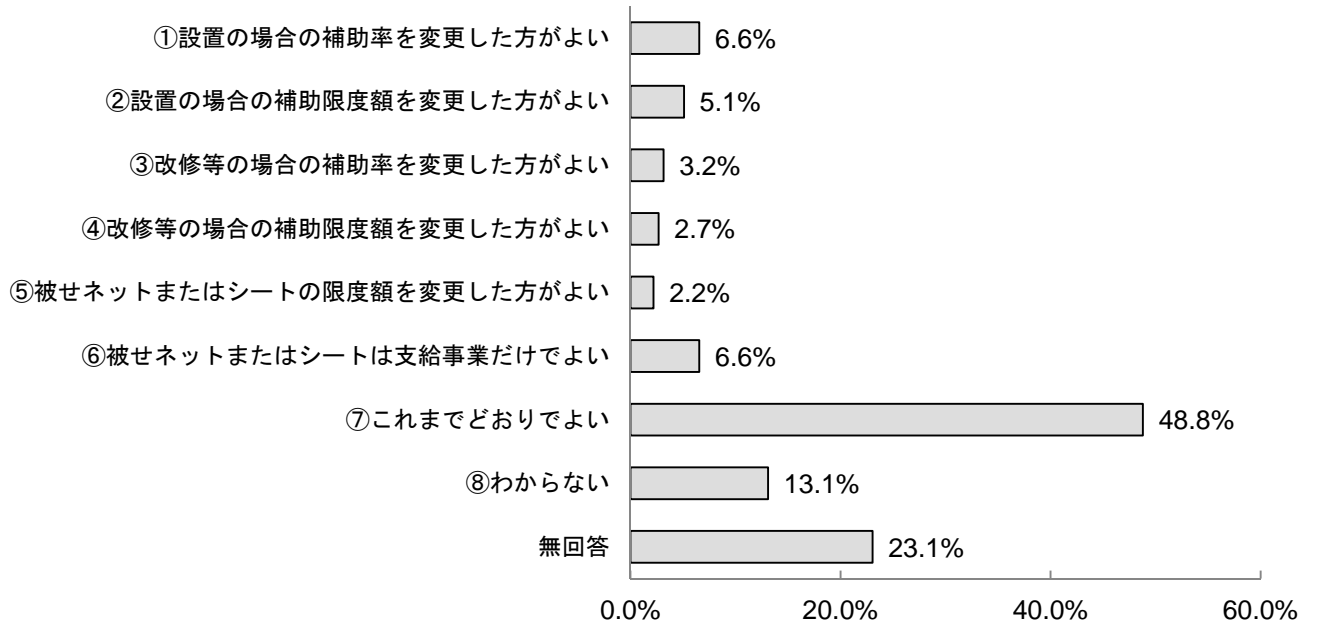
2 指定ごみ袋の種類(大きさ)についてどう思いますか。(○は1つ)



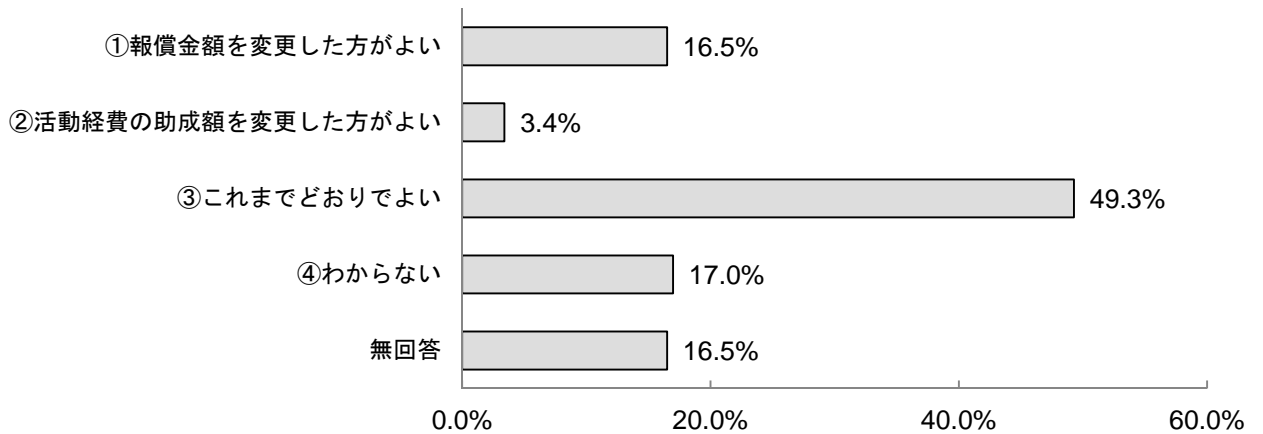
問 1 3

手数料収入の用途についてお答えください。

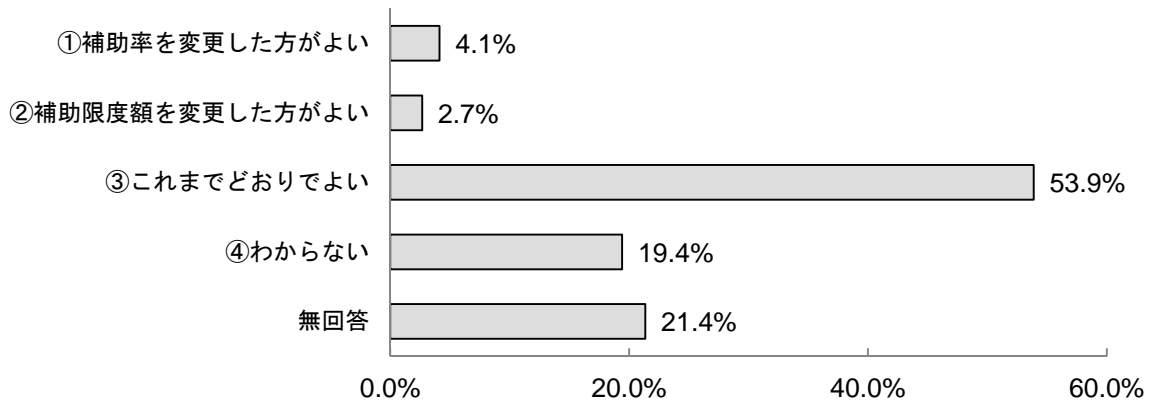
1 ごみステーション設置等補助金についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



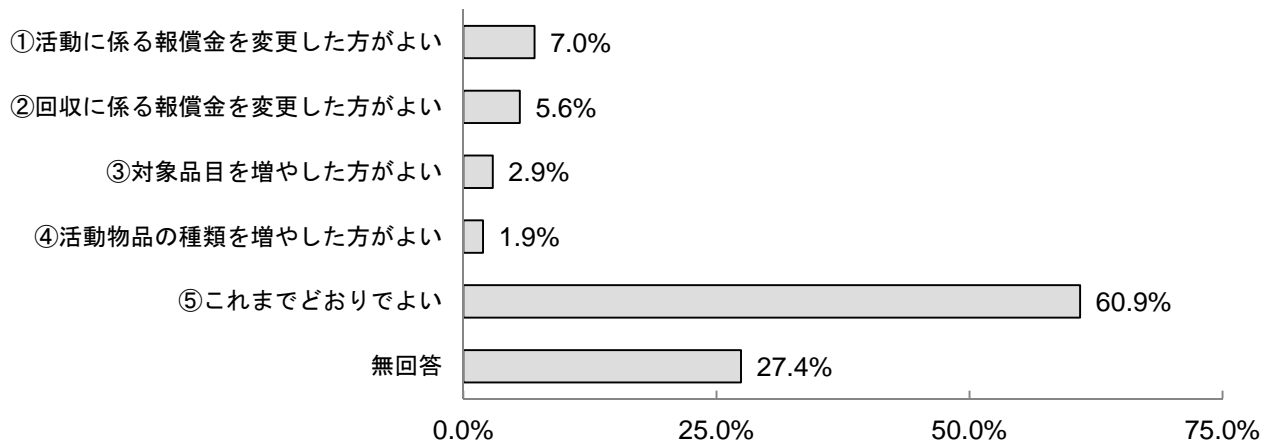
2 クリーン推進員報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の活動経費の助成についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



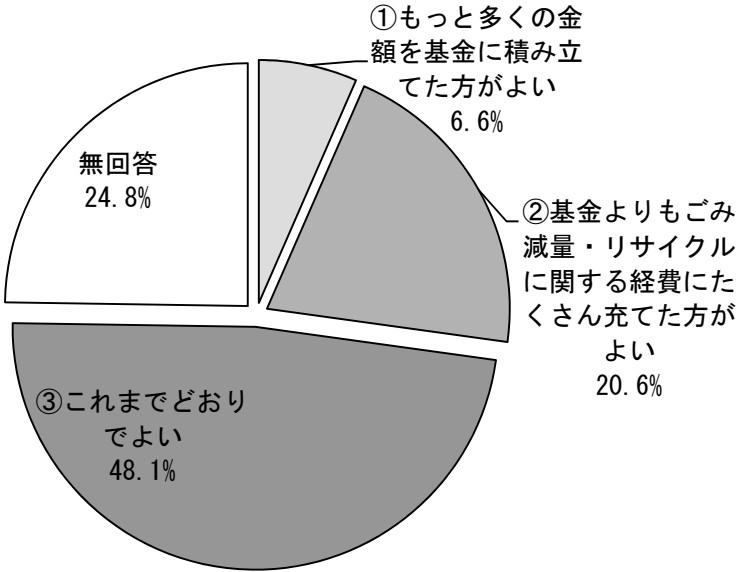
3 生ごみ処理機器の購入補助についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



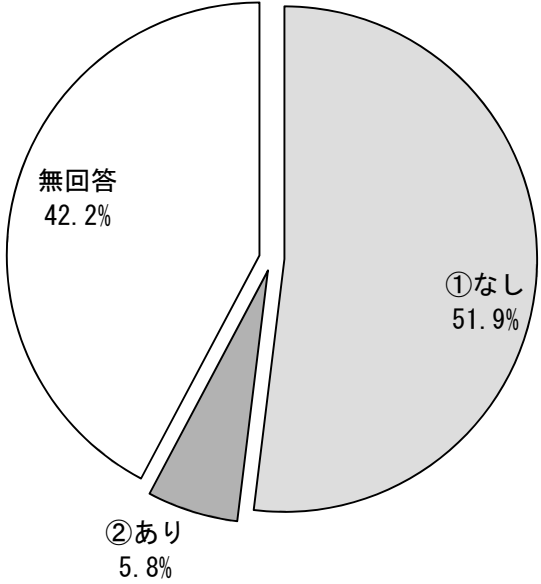
4 有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金についてどう思いますか。(〇はいくつでも)



5 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、基金を積み立てていることについてどう思いますか。(○は1つ)

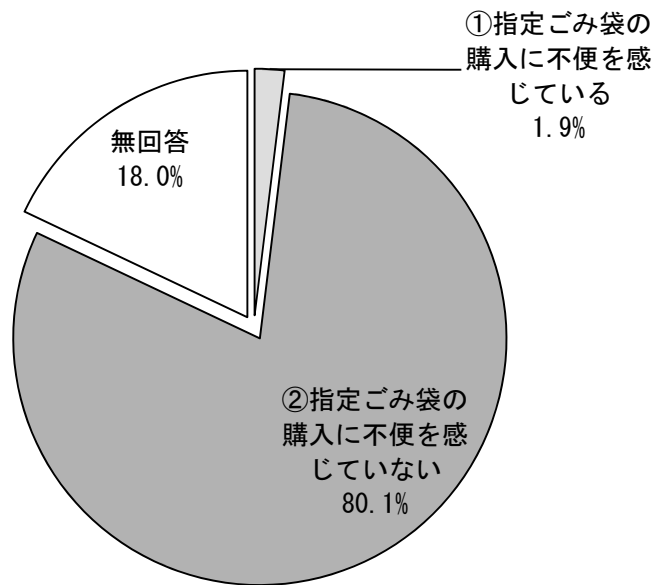


6 上記1～5以外で、手数料収入を活用してほしいことはありますか。

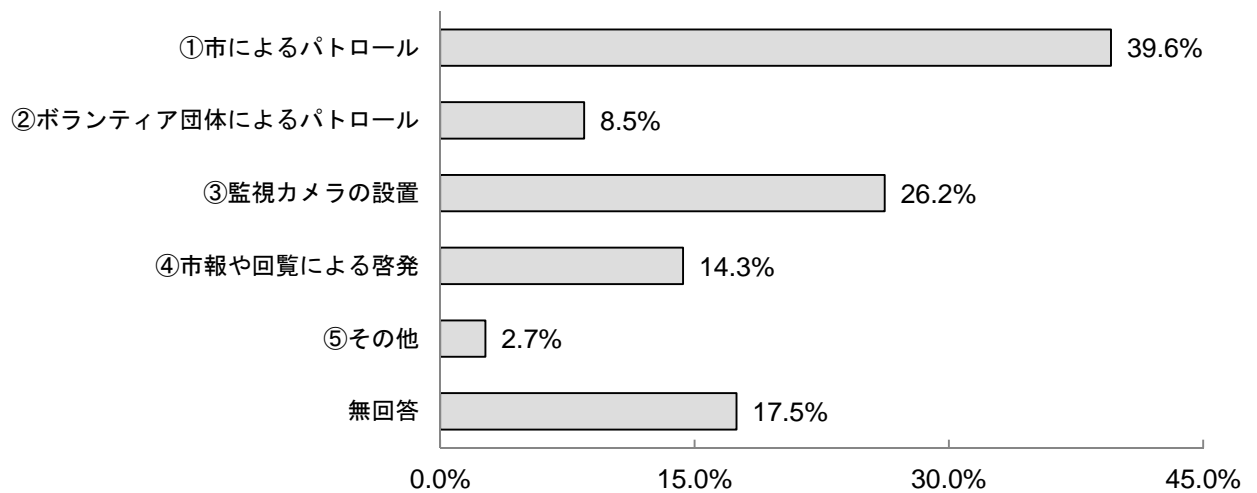


問 1 4

指定ごみ袋取扱所についてお答えください。(〇は1つ)

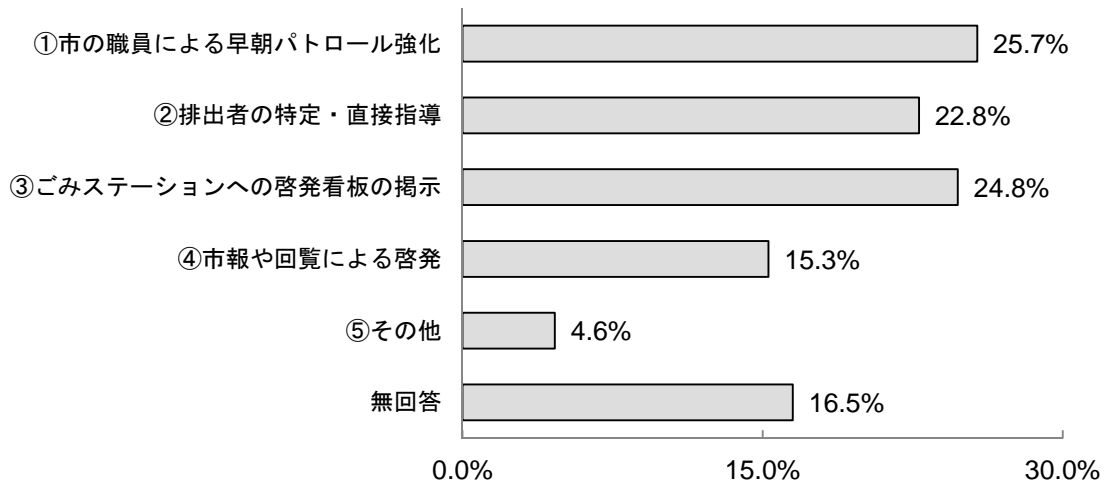
**問 1 5**

不法投棄に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)

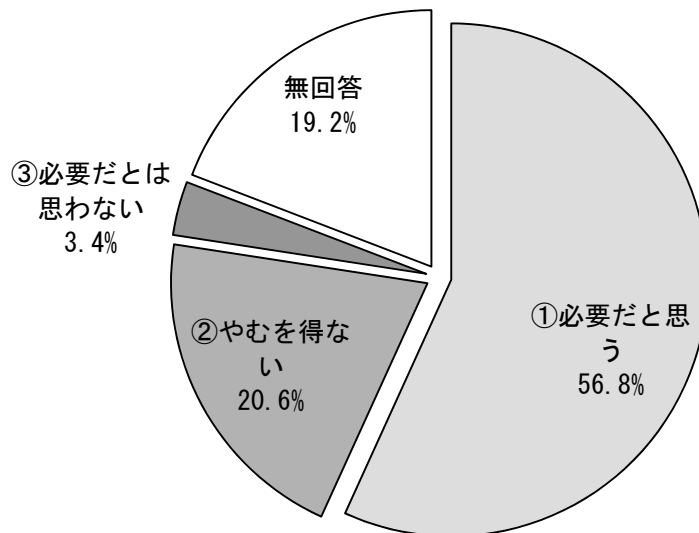


問 16

不適正排出(ごみステーションへのルール違反ごみ) に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)

**問 17**

家庭ごみ有料化制度は、ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保することと、家庭ごみの減量・リサイクルの推進を目的として実施しましたが、この制度の必要性についてどう思いますか。(〇はひとつ)



問 18	家庭ごみ有料化制度やごみ減量・リサイクルについてご意見等がございましたら、どのようなことでも構いませんのでご記入ください。
------	---

意見等あり 118件／412件

【内容別】

有料化制度について 25件

- 有料化やめるべき、無料化に戻す、有料化が良いとは思わない、費用負担の公平性が確保されていると思わない、有料については反対など、制度に否定的なご意見（5件）
- 有料化制度は続けていく必要がある、ごみの減量のためには続けるべき、有料化は有効だったと思う、現状どおりで進めていただきたい、この制度は必要など、制度に肯定的なご意見（9件）
- 必要だとは思いますが価格を見直してほしい、基金よりも値段を下げて、値段は今後段階的にあげていってもよいのでは、価格は上げることのないようにして、袋代をやや高くしてさらにリサイクルにもってくように考えては、など価格に関するご意見（7件）
- 不適正排出ごみを減らすことを目的として袋の色及びごみの種類を標記した袋に変える
- 有料化で減量とリサイクルが定着してきた。
- ごみ量だけに目を向けて減量を図るのは限界。有料化は不法投棄、不適正排出の誘因となる。
- ごみ袋はサイズが小さい方を割安な値段とし、差を大きくすることで減量に結びつく
- 負担軽減措置はこれまでどおりでよい、0円だからと大事に使ってないように見えるなど、負担軽減措置に関すること（2件）

指定ごみ袋について 7件

- 少しいれすぎると破れやすいので強度を高めて、丈夫な袋に、などごみ袋の強化について
- 大変丈夫にできているから質を落とさないで。

分別について 12件

- リサイクルできる紙類の分別のさらなる徹底を
- 分別が難しい
- 可燃物以外のごみの定義が記憶できない。よい分別の仕方はないか
- 布類の分別が個人の判断と業者の判断が違うため残されることが多い。基準を決めては
- なかなか分別事典をいつも開かないので分別 Q&A として市報・回覧等でシリーズ化して毎回少しずつ掲載すれば楽しく分別の知識がつくのでは

ステーションについて 23件

- ステーションがきれいになった。
- ステーションを新たに作る場合は全額補助を、折りたたみ式のステンレスのごみ入れを配布してほしい、蓋付きのステーションにしてほしい
- ネットは丈夫なものを、ほかのサイズも用意してほしい
- ステーションに看板を設置したいのでつくってほしい、ごみが残された人は何がダメだったのかわからない人も多いのでは
- ステーションの年間使用料を支払っているのに市から補助してほしい
- ステーションに対して現場に任せきり
- ステーションの管轄が道路だったり、看板もなかなか立てられない現状をどうか改善してほしい

マナーについて 23件

- 地区外の人が通勤途中に置いていく
- 指定ごみ袋以外の袋で分別せずに放置するケースが多発、夜間に故意でしている様子が見受けられ対応に苦慮している
- 前日夜間に排出する人が多く早朝にはカラスなどに荒らされる
- 袋に名前、番号を記入している
- 缶・びん・ペットボトルを一緒にしている、ペットボトルキャップを外していない
- 長期間は打ちごみはクリーン推進員が片付けており負担になっている
- クリーン推進員が毎日チェックし不適正な物は分別し直しているのが現状

教育・啓発について 18件

- ごみダイエットはとてもよい
- 小中学校などで使える環境学習用ビデオや教本が必要、毎年改訂すべきで広くアイデアを募集すべき
- 市報・回覧は字を大きく、目につきやすくする
- 学校に定期的に出向き、幼児・子どものうちから教育し、ごみに対する意識を変えれば将来のごみ減量につながる
- ごみの問題は、子どもとともに取組を実施することで親・大人が注意するようになる
- このような会に参加しない方にはテレビや市報で周知徹底を
- 小学校などで地域の人がごみのリサイクル方法など教える時間をつくる
- 回覧掲示で周知しても改善されず、文書も見ない、直接指導しか方法はないのでは

ごみ収集について 9件

- 回収不能のステッカーに理由を記載できないか
- 収集時間がこれまでと変わり戸惑った、事前に知らせてほしかった
- 収集回数を工夫して資源物として出せる機会を増やせば、燃やせるごみの中に捨てる人も減るのでは

高齢世帯について 4件

- 高齢者家庭の回収制度等の検討

不法投棄について 5件

- テイクアウト食品の食べかす、容器のポイ捨てに対する施策はないか、駐車場に散乱しているところもあり見苦しい
- 山又は草むらに不法投棄が見受けられていたが、ほとんど見られなくなった、不法投棄が少なくなった
- 墓所にペットボトル等捨てられ不法投棄に困っている
- 不法投棄で有害物質が拡散しては取り返しがつかない

基金について 9件

- 施設整備は税金内で行うべき
- 基金は要らない、基金を積み立てず袋代を安く、基金をなくす、基金については大いに疑問、本来のあり方とちがう など基金に関して否定的なご意見 (6件)
- 基金についてわかりやすく市民に発信を
- 基金の用途等ははっきりさせ計画を作成し決定する

その他 40件

- 排出者のモラルアップにつながるような政策を
- 食品ロスについて学び、家庭では食べきり、残ったら工夫して料理に手を加えている
- 私たちもごみ減量化に努力するので行政の方々もよろしく
- 拝聴会のあり方をもう少し考えては、わけのわからない質問に時間を費やし資源ごみの有料化や燃やせないごみの有料化も議題に上がらない
- アウトソーシングできるところは大いに進めて
- 有価物集団回収は成果が出ている
- ボランティア袋の支給枚数が少ない
- クリーン推進員になり手がなく、市も自治会任せにせず考えて
- デパート等での包装が過剰、指導して
- 公園・公民館などに資源物の一時保管所を作れないか